



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年10月31日

上場取引所 東名

上場会社名 株式会社 鶴弥  
 コード番号 5386 URL <https://www.try110.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部担当  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 鶴見 哲  
 (氏名) 山内 浩一  
 配当支払開始予定日

TEL 0569-29-7311  
 平成29年12月5日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	4,062	△13.5	37	△88.3	43	△86.3	25	△88.3
29年3月期第2四半期	4,696	8.0	322	64.2	318	83.6	217	128.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	3.31	—
29年3月期第2四半期	28.05	—

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
30年3月期第2四半期	16,867		11,307		67.0
29年3月期	17,021		11,344		66.6

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 11,307百万円 29年3月期 11,344百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
30年3月期	—	5.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	7.50	12.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	△8.6	70	△86.5	60	△88.3	40	△88.1	5.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	7,767,800 株	29年3月期	7,767,800 株
30年3月期2Q	112,798 株	29年3月期	10,498 株
30年3月期2Q	7,699,723 株	29年3月期2Q	7,757,302 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における国内経済は、企業収益や雇用情勢が改善するなど、緩やかな回復基調にあるものの、今後の国内外の政治・経済動向に加えて海外の地政学的リスクといった懸念材料から、先行き不透明感が継続しております。

当業界におきましては、引き続き低価格の規格住宅が攻勢を強めている状況下に加え、持家着工戸数も前期比減少傾向にあります。また、大手ハウスメーカーでは、高所得者需要に向けた商品を展開する動きが見られるものの、全体の受注状況で前年を割り込むなど、高付加価値品である粘土瓦の需要環境は厳しいものとなっております。

このような経営環境のもと、幅広いニーズに対応するための製品開発を加速させ、平成29年5月26日に、軽量化された防災洋風瓦であるスーパートライ110サンレイシリーズに新色である「ブリティッシュブラウン色」を追加いたしました。また、雨垂れを防止する機能性瓦であるトライRS袖瓦を改良した「トライRSワイド袖シリーズ」、さらに、当社が新たな事業の柱として研究開発を継続しております陶板壁材とともに、新たに屋根材として利用する「スーパートライ 美軽(みがる)」を、それぞれ同年10月2日に発売いたしました。

このように研究開発活動を積極的に実施して参りましたが、市場低迷の影響は避けられず、売上高につきましては4,062百万円となりました。なお、前年同四半期累計期間に、太陽光発電システムの大型案件及び熊本地震による補修需要があったため、売上高の前年同四半期比は13.5%減となりました。

損益面につきましては、原油価格の上昇によるエネルギーコストの増加、売上高の減少に伴う工場稼働率低下によって固定費負担が増加した結果、当第2四半期累計期間における売上原価率は、前年同四半期比3.3ポイント増の74.7%となり、売上総利益は前年同四半期比23.5%減の1,028百万円となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高4,062百万円(前年同四半期比13.5%減)、営業利益37百万円(前年同四半期比88.3%減)、経常利益43百万円(前年同四半期比86.3%減)、四半期純利益25百万円(前年同四半期比88.3%減)の減収減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産額は、前事業年度末に比べ153百万円減少し16,867百万円となりました。負債総額は、前事業年度末に比べ116百万円減少し5,559百万円となりました。純資産は、前事業年度末に比べ37百万円減少し11,307百万円となり、自己資本比率は67.0%(前事業年度末は66.6%)となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べて2百万円増加し、1,738百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期累計期間に比べ368百万円減少し、335百万円となりました。

これは主に、増加要因としては、たな卸資産の減少額187百万円(前年同四半期は減少額287百万円)、仕入債務の増加額106百万円(前年同四半期は減少額57百万円)等によるものです。減少要因としては、売上債権の増加額90百万円(前年同四半期は減少額128百万円)等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期累計期間に比べ23百万円減少し、27百万円となりました。

これは主に、増加要因としては、預託金の返還による収入13百万円によるものです。減少要因としては、有形固定資産の取得による支出36百万円(前年同四半期は有形固定資産の取得による支出48百万円)等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期累計期間に比べ45百万円増加し、305百万円となりました。

これは主に、自己株式の取得による支出額47百万円等によるものです。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期の業績を勘案し、平成29年4月28日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、平成29年10月27日に公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,748,152	1,750,716
受取手形及び売掛金	1,926,608	2,020,390
商品及び製品	923,061	746,742
仕掛品	46,479	48,943
原材料及び貯蔵品	133,855	120,160
その他	108,291	92,990
貸倒引当金	△6,439	△5,325
流動資産合計	4,880,011	4,774,618
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,336,424	1,296,431
土地	9,113,158	9,113,158
その他(純額)	965,008	890,323
有形固定資産合計	11,414,592	11,299,913
無形固定資産	69,543	68,522
投資その他の資産		
投資有価証券	495,510	558,200
その他	164,338	165,767
貸倒引当金	△2,990	—
投資その他の資産合計	656,858	723,968
固定資産合計	12,140,995	12,092,404
資産合計	17,021,006	16,867,023

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	566,501	532,788
電子記録債務	637,714	771,761
短期借入金	2,000,000	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	400,000	400,000
未払法人税等	89,178	47,990
賞与引当金	183,396	173,430
その他	492,893	495,320
流動負債合計	4,369,685	4,421,290
固定負債		
長期借入金	825,000	625,000
退職給付引当金	101,251	114,779
役員退職慰労引当金	298,020	308,813
その他	82,758	89,958
固定負債合計	1,307,029	1,138,551
負債合計	5,676,715	5,559,842
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,144,134	2,144,134
資本剰余金	2,967,191	2,967,191
利益剰余金	6,022,727	5,990,026
自己株式	△5,813	△53,382
株主資本合計	11,128,240	11,047,969
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	216,051	259,211
評価・換算差額等合計	216,051	259,211
純資産合計	11,344,291	11,307,180
負債純資産合計	17,021,006	16,867,023

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	4,696,818	4,062,265
売上原価	3,352,493	3,033,886
売上総利益	1,344,324	1,028,379
販売費及び一般管理費	1,022,317	990,612
営業利益	322,007	37,766
営業外収益		
受取利息	26	261
受取配当金	6,091	7,177
売電収入	6,809	6,908
その他	9,896	12,253
営業外収益合計	22,824	26,601
営業外費用		
支払利息	14,918	10,808
手形売却損	700	626
工場休止に伴う諸費用	6,646	5,317
その他	3,611	3,923
営業外費用合計	25,877	20,676
経常利益	318,955	43,690
税引前四半期純利益	318,955	43,690
法人税、住民税及び事業税	101,706	25,641
法人税等調整額	△324	△7,428
法人税等合計	101,382	18,212
四半期純利益	217,572	25,478

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	318,955	43,690
減価償却費	150,550	134,705
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△52	△4,104
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,288	△9,966
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,435	13,527
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,869	10,793
受取利息及び受取配当金	△6,118	△7,439
支払利息	14,918	10,808
売上債権の増減額(△は増加)	128,518	△90,791
たな卸資産の増減額(△は増加)	287,137	187,550
仕入債務の増減額(△は減少)	△57,337	106,564
その他	62,112	5,304
小計	913,276	400,645
利息及び配当金の受取額	6,123	7,438
利息の支払額	△16,096	△12,522
法人税等の支払額	△199,397	△60,245
営業活動によるキャッシュ・フロー	703,905	335,315
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△48,219	△36,525
有形固定資産の売却による収入	650	1,788
預託金の返還による収入	—	13,000
その他	△3,310	△5,741
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50,879	△27,478
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△200,000	△200,000
自己株式の取得による支出	—	△47,766
配当金の支払額	△59,627	△57,505
財務活動によるキャッシュ・フロー	△259,627	△305,272
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	393,398	2,564
現金及び現金同等物の期首残高	1,364,787	1,736,152
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,758,186	1,738,716

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

前第2四半期累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)及び当第2四半期累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

当社は、粘土瓦の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。